

Tokyo Pride²⁰₂₅

Same Life, Same Rights

同じ権利がすべての命に与えられ、守られる社会へ変わるまで

特定非営利活動法人 東京レインボープライド

2024 年度 年間活動報告書

ANNUAL REPORT 2024/10/01 ~ 2025/09/30

『特定非営利活動法人 東京レインボープライド』(2015年8月設立)について

MISSION

NPO法人東京レインボープライドは
多様な性のあり方を前提とし
誰もが「らしく、たのしく、ほこらしく」
生きられるHappy!な社会の実現を
めざしています。

VISION

① 可視化

多様な性のあり方と、
それに関わる課題を見えるようにし、
理解を促進する。

② 場づくり

多様な性をもつ人たちの交流のハブとなり、
全国へ、世界へ、未来へと、
LGBTQ+コミュニティをつなげる。

③ 課題の解決

アドボカシー活動を通じて、
LGBTQ+に関する社会課題を解決する。

目次

特定非営利活動法人 東京レインボープライド について	1
プライドカンファレンス	2
Tokyo Pride 2025 について	3
Tokyo Pride 2025 イベント全体像(主催・共催・後援)、テーマ	4
Tokyo Pride 2025 プライドパレード	5
Tokyo Pride / Pride Festival 2025 プライドステージ	6
Tokyo Pride / Pride Festival 2025 ブース	7
Tokyo Pride / Pride Festival 2025 会場 MAP	8 - 9
Youth Pride 2025	10 - 11
Human Rights Conference	12
Queer Art Exhibition	13
interfm / e-ラーニング / YouthProject	14
新しい期のはじまり	15
TOKYO RAINBOW PRIDE センター	16
認定NPOについて	17

沿革

2011

■ 2011年5月
任意団体 <東京レインボープライド> 設立

2012

■ 2012年4月29日(日・祝)
『東京レインボープライド2012』開催
テーマ: Power of Rainbow
参加者数: 4,500人

2013

■ 2013年1月
任意団体 <東京レインボーウィーク> 設立

■ 2013年4月28日(日)
『東京レインボープライド2013』開催
参加者数: 12,000人

■ 2013年4月27日(土)～5月6日(月・祝)
『東京レインボーウィーク2013』開催
参加者数: 3,000人

2014

■ 2014年4月27日(日)
『東京レインボープライド2014』開催
テーマ: 人生いろいろ♪ 愛もいろいろ♥
参加者数: 15,000人

■ 2014年4月26日(土)～5月6日(火・祝)
『東京レインボーウィーク2014』開催
テーマ: 2014年、東京のゴールデンウィークを、
レインボーウィークに!!
参加者数: 3,000人

■ 2014年10月
<東京レインボープライド>
<東京レインボーウィーク> 統合

2015

■ 2015年4月25日(土)～5月6日(水・祝)
『東京レインボープライド2015』開催
総参加者数: 60,000人
● PARADE & FESTA:
4月25日(土)&26日(日)
● RAINBOW WEEK:
4月25日(土)～5月6日(水・祝)

■ 2015年8月10日
<特定非営利活動法人 東京レインボープライド> 設立

2016

■ 2016年4月29日(金・祝)～5月8日(日)
『東京レインボープライド2016』開催
テーマ: BEYOND THE RAINBOW
～ LGBTブームを超えて～
総参加者数: 70,500人
● PARADE & FESTA:
5月7日(土)&8日(日)
● RAINBOW WEEK:
4月29日(金・祝)～5月8日(日)

2017

■ 2017年4月29日(土・祝)～5月7日(日)

『東京レインボープライド2017』開催

テーマ：CHANGE ー未来は変えられるー

総参加者数：105,000人

● PARADE & FESTA：

5月6日(土) & 7日(日)

● RAINBOW WEEK：

4月29日(土・祝)～5月7日(日)

2018

■ 2018年4月28日(土)～5月6日(日)

『東京レインボープライド2018』開催

テーマ：LOVE & EQUALITY ～すべての愛に平等を。

総参加者数：150,000人

● PRIDE PARADE & PRIDE FESTIVAL：

5月5日(土・祝) & 5月6日(日)

● RAINBOW WEEK：

4月28日(土)～5月6日(日)

■ 2018年10月8日(月・祝)

『TOKYO LOVE PARADE』開催

テーマ：LOVE & EQUALITY ～すべての命に平等を。

総参加者数：500人

2019

■ 2019年4月27日(土)～5月6日(月・祝)

『東京レインボープライド2019』開催

テーマ：I HAVE PRIDE あるがままを誇ろう。

総参加者数：204,000人

● PRIDE PARADE & PRIDE FESTIVAL：

4月28日(日) & 29日(月・祝)

● RAINBOW WEEK：

4月27日(土)～5月6日(月・祝)

2020

■ 2020年4月25日(土)～5月6日(水・祝)

『東京レインボープライド2020』オンライン開催

テーマ：Your Happiness is My Happiness

～あなたの幸せは、わたしの幸せ～

総参加者数：450,000人

● TRP2020 オンライン

『#おうちでプライド』トークライブ & パレード：

4月25日(土) & 26日(日)

● オンラインプライドウィーク：

4月25日(土)～5月6日(水・祝)

2021

■ 2021年4月24日(土)～5月5日(水・祝)

『東京レインボープライド2021』オンライン開催

テーマ：声をあげる。世界を変える。

Our Voices, Our Rights.

総参加者数：1,600,000人

● TRP2021 オンライン『#おうちでプライド』：

4月24日(土) & 25日(日)

● オンラインプライドウィーク：

4月24日(土)～5月5日(水・祝)

2022

■ 2022年4月22日(金)～6月26日(日)

『東京レインボープライド2022』開催

テーマ：繋がる、見える、変わる

Change the Future Together

総参加者数：1,500,000人

● プライドパレード & プライドフェスティバル：

4月22日(金)～24日(日)

● プライドウィーク：

4月22日(金)～5月8日(日)

● プライドトークライブ オンライン：

6月25日(土)～26日(日)

2023

■ 2023年4月22日(土)～5月7日(日)

『東京レインボープライド2023』開催

テーマ：変わるまで、続ける

Press on till Japan changes.

総参加者数：240,000人

● プライドパレード & プライドフェスティバル：

4月22日(土) & 4月23日(日)

● プライドウィーク：

4月22日(土)～5月7日(日)

2024

■ 2024年4月19日(金)～4月21日(日)

『東京レインボープライド2024』開催

テーマ：変わるまで、あきらめない。

Don't give up, change Japan.

総参加者数：270,000人

● プライドパレード & プライドフェスティバル：

4月19日(金)～4月21日(日)

※ 4月19日(金)は強風の影響で安全を考慮し中止。

2025

■ 2025年6月6日(金)～6月22日(日)

『Tokyo Pride 2025』開催

テーマ：Same Life, Same Rights

総参加者数：約 277,550人

● Pride Festival

のべ動員数 6月7日(土) 113,000人

6月8日(日) 160,000人

(※ Pride Parade 参加人数も含む)

● Pride Parade

参加者 15,000人／梯団数 60

● Pride Night

参加者 6月8日(日) 約 1,000人

● Youth Pride

のべ参加者 6月14日(土)・6月15日(日) 約 1,300人

● Human Rights Conference

参加者 6月22日(日) 150人

● Queer Art Exhibition

来場者数 6月6日(金)～6月18日(水) 約 2,100人

プライドカンファレンス

2024年11月28日(木)に「プライドカンファレンス」を開催しました。本カンファレンスでは、主に法人企業の担当者（人事・広報・CSR・ダイバーシティ&インクルージョンなど）の方々を対象に、LGBTQ+に関する有識者や当事者の方などをお招きして、取り巻く課題や現状について情報提供する場として実施しました。



プレイバックビデオはこちらから
https://youtu.be/_XFH-gKgyw



Session 1

変わるまで、あきらめない。
経営者が経済界と組織を変えていく

菅 大介 氏
チェリオグループ
代表取締役社長

金山 桃 氏
LVMHフレグランスプランズ
代表取締役社長

杉山 文野
NPO法人
東京レインボープライド
理事

モデレーター

プライドカンファレンス アーカイブ動画

<https://youtu.be/4wP7NptEssc>



Session 2

現場から 社会を動かし 未来へつなぐ
組織を変えたパナソニック コネクトの取り組み

樋口 泰行 氏
代表取締役 執行役員
プレジデント・CEO

西川 岳志 氏
代表取締役 執行役員 シニア・ヴァイス・プレジデント CMO DEI
ア・ヴァイス・プレジデント
トCFO DEI担当役員

山口有希子氏
取締役 執行役員 シニア・ヴァイス・プレジデント CMO DEI
担当役員、カルチャー&マインド変革推進担当役員

馬場 典子 氏
フリーアナウンサー

モデレーター

プライドカンファレンス アーカイブ動画

<https://youtu.be/hk-3vLJ99Nc>



Session 3

一人ひとりへのサポート
個性を尊重し、働きやすい環境づくり

小野 咲子 氏
パナソニック オペレーションズ
エクセレンス株式会社
組織・人材開発センター
DEI推進室

松田 聡子 氏
パナソニック株式会社
エレクトリックワークス社
DEI推進室 主幹

林 永 氏
NPO法人
東京レインボープライド
スポンサーシップチーム
リーダー

モデレーター

プライドカンファレンス アーカイブ動画

<https://youtu.be/FWY0lo3tssw>



Session 4

DEI推進に必要な継続性
他社施策事例から学ぶ

石井 優貴 氏
セガサミーホールディングス株式会社
サステナビリティ本部
サステナビリティコミュニケーション部

堀江 菜月 氏
セガサミーホールディングス株式会社
サステナビリティ本部
サステナビリティコミュニケーション部

吉村 美音 氏
フリー株式会社 DEI lead
NPO法人東京レインボープライド
経営企画/人事マネージャー

モデレーター

プライドカンファレンス アーカイブ動画

<https://youtu.be/KVv-v0TAINk>



Session 5

**トランスジェンダーについて
企業が知っておくべきこと**

高井 ゆと里 氏
群馬大学 准教授

モデレーター

プライドカンファレンス アーカイブ動画

<https://youtu.be/FmxzLd3XE9U>



Tokyo Pride 2025

TOKYO RAINBOW PRIDE から Tokyo Pride へ

Tokyo Pride (旧：TOKYO RAINBOW PRIDE) は、今年で 14 回目を迎えるアジア最大級の LGBTQ+ イベントです。プライドパレードとプライドフェスティバルを通じて、2012 年の初開催以来、当事者の可視化を推進し、社会全体において LGBTQ+ コミュニティへの理解や認識が着実に広がりました。現在では「LGBTQ+」という言葉自体も広く浸透しています。

近年では、LGBTQ+ の方々を含む、多様なアイデンティティを持つすべての人にとって必要とされる場へと成長しました。この変化の背景には、LGBTQ+ コミュニティの中にも複数のマイノリティ性を持つ方々が多く存在しているという現実があります。そのため、私たちは、LGBTQ+ が抱える人権問題だけが解決しても、誰もが「らしく、たのしく、ほこらしく」生きられる社会は実現するのか、という重要な問いに向き合っています。

こうした背景から私たちは、LGBTQ+ コミュニティが直面している婚姻の平等（同性婚）や差別といった人権課題だけでなく、女性、障害、人種、就業機会など、重なり合う様々な人権課題の解決に取り組む必要があると考え、「Tokyo Pride」へと名称を変更し、プライドマンズの 1 か月を通じて、多様な人権課題の解決を目指すイベントへ進化しました。

Tokyo Pride は LGBTQ+ の権利や多様性を祝うプライドマンズに、当事者・LGBTQ+ コミュニティをはじめ、様々な団体・行政・企業・アライ・大使館など、多くの人々がともに考え、人権課題への理解を深め、偏見や差別の解消に繋がるきっかけを提供します。

イベント名に込めた思い

今回の名称変更は、LGBTQ+ コミュニティの中にも広がる多様性に目を向け、一人ひとりの当事者が持つ多様なアイデンティティを尊重するという意図を込めました。レインボーフラッグが、プログレッシブフラッグに進化していくように、より包括的なイベントをプライド月間を通して Tokyo で行なっていく意味を含めて、プライド月間を通して行うイベントの総称を Tokyo Pride と名称を変更しました。「レインボー」という象徴的な名称は、引き続き、私たちの団体名の一部として大切にしていきます。

Tokyo Pride 2025 の見どころ

毎年恒例の「Pride Parade（プライドパレード）」と「Pride Festival（プライドフェスティバル）」をはじめ、LGBTQ+ 当事者の可視化・場づくり・課題の解決をテーマに、新たに **4 つのイベント** を開催しました。

- LGBTQ+ コミュニティの文化的背景の理解を深め、アーティストをつなぐ「[Queer Art Exhibition](#)（クィアアートエキシビジョン）」
- ユースが中心となり次世代のコミュニティの場を広げる「[Youth Pride](#)（ユースプライド）」
- より人権課題を深掘りする「[Human Rights Conference](#)（ヒューマンライツカンファレンス）」
- LGBTQ+ コミュニティにとって特別な新宿二丁目とともに音楽とパフォーマンスを楽しむ「[Pride Night](#)（プライドナイト）」

Tokyo Pride 2025 イベント全体像(主催・共催・後援)、テーマ

正式名称

Tokyo Pride 2025

期 間：2025年6月6日(金)～6月22日(土)

場 所：東京都渋谷区代々木公園イベント広場、及び他協力施設

参加費：無料

主 催：特定非営利活動法人 東京レインボープライド

後 援：渋谷区(Pride Nightを除く)

スポンサー企業・団体総数：270団体

メディア露出数：4,172件(Web 4,138件、TV・ラジオ16件、新聞・雑誌18件)

<提携メディア> InterFM897、Tokyo Weekender、タイムアウト東京

<PRパートナー> 株式会社ギークピクチャーズ、株式会社アンティル、PR TIMES

<アクセシビリティパートナー> 株式会社ミライロ

テーマ

Same Life, Same Rights

生まれてから大人になり、老いて人生を終えるまで

わたしたちには人生の中で様々な選択をする権利がある。

しかし、LGBTQ+であることや、

ジェンダー、人種、民族、宗教、出生、障害、経済的背景などの違いにより

「自分らしい人生を歩む権利」が平等に与えられず

人生の選択が奪われている人たちがいる。

自分らしく学ぶ権利、働く権利、恋愛する権利、住む権利、健康を守る権利、
結婚する権利、家族になる権利。

同じ命を持って生まれてきたわたしたちには

どんな属性であっても、平等に生きる権利があるはずだ。

その権利を取り戻すためには、法整備が必要となる。

構造的な差別や偏見がなくなり

同じ権利がすべての命に与えられ、守られる社会へ変わるまで、

私たちはSame Life, Same Rightsを訴え続ける。

イベント / 動員数

Pride Festival

のべ動員数 6月7日(土) 113,000人

6月8日(日) 160,000人

(※ Pride Parade 参加人数も含む)

Pride Parade

参加者 15,000人 / 梯団数 60

Pride Night

参加者 6月8日(日) 約1,000人

Youth Pride

のべ参加者 6月14日(土)

6月15日(日) 約1,300人

Human Rights Conference

参加者 6月22日(日) 150人

Queer Art Exhibition

来場者数 6月6日(金)～6月18日(水)

約2,100人



©TokyoPride2025

Pride Parade プライドパレード

プライドパレードでは渋谷・原宿間を行進。15,000人・60 梯団が参加し、イベントのテーマ「Same Life, Same Rights」のもと、同性婚法制化やトランスジェンダーの権利、Youth 世代の声、全国のプライド活動の可視化など、LGBTQ+ コミュニティが直面する多様な課題を掲げて行進しました。

先頭は主催である Tokyo Pride が歩き、「Same Life, Same Rights」を掲げながら、すべての人が平等な権利を持つ社会の実現を訴えました。続くフロートには婚姻の平等（同性婚法制化）を求める Marriage For All Japan が登場し、法律上同性同士のカップルたちとともに行進。

また、トランスジェンダーの権利を訴える Trans Rights、若者の声を可視化する Youth Pride、日本全国のプライド団体の連携を強化する全国プライドネットワークなどが、それぞれの視点から LGBTQ+ コミュニティの多様性を発信。参加者も自身の思いを込めたメッセージを掲げ、それぞれのテーマに沿って歩きました。

プライドパレード終了後は、婚姻の平等（同性婚）実現のために活動する団体・Marriage For All Japan に参加した、50 組 100 名の法律上同性どうしのカップルがプライドフェスティバルのステージに登壇。100 名が一斉にメッセージカードを掲げ、同性婚法制化への願いを力強く発信。それぞれの愛の形を称えながら、「私たちを結婚させてください」と結婚の自由を求めるメッセージが来場者一人ひとりに届けられました。



全 92 団体・社 (LGBTQ+ 関連団体 21 団体、海外コミュニティ 2 団体、企業 69 社)

LGBTQ+ 活動団体

Family Pride by 「一般社団法人こどもまつ」, 「NPO 法人 ハートをつなごう学校」, 「にじいろかぞく」, 「ひゅっ家」 / Japan Pride Network / バイセクシュアルの交流会 / Rainbow Pride ひたち / (公社) 東京都助産師会、(一社) にじいろドクターズ、にじいろリハネット、民医連 SOGIE コミュニティ まるつとインクルーシブ病院の実装プロジェクト / 国際交流 NGO ビースポート / 東京トランスマーチ実行委員会 / アライな当事者会 / 上智大学教職員有志 / 一般社団法人 work with Pride / 日本労働組合総連合会 / AmoLis / PLAY 4ALL GAME / トランス X コミュニティ / #UpdateHIV / irOdori ~彩り×踊り~ / 西町インターナショナルスクール / Power of Education ~自分らしくいられる未来を作ろう~ / Miss International Queen JAPAN / メディアレインボーアライズ / 公益社団法人 Marriage For All Japan- 結婚の自由をすべての人に

海外団体

大使館チーム / 台湾伴侶盟×台湾紅絲帶

企業

パナソニック コネクト株式会社 / キンドリルジャパン株式会社 / LVMH モエヘネシー・ルイヴィトン・ジャパン合同会社 / 株式会社セールスフォース・ジャパン / 楽天グループ株式会社 / ラルフローレン合同会社 / サイボウズ株式会社 / EY / 株式会社チェリオコーポレーション / NTT グループ (日本電信電話株式会社) / ノボルディスクファーマ株式会社 / eBay Japan 合同会社 / Koala Sleep Japan 株式会社 / スポティファイジャパン / タイ国政府観光庁 / 日産自動車株式会社 / アクセンチュア株式会社 / 株式会社ケリングジャパン / BAT ジャパン / Hilton Worldwide International Japan 合同会社 / ゴールドマン・サックス / PwC Japan グループ / 株式会社大和証券グループ本社 / ELC ジャパン合同会社 / 株式会社中島董商店 / 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社 / 合同会社ユー・エス・ジェイ / ベルノ・リカル・ジャパン株式会社 / 株式会社資生堂 / JLL / The Adecco Group / iPride Members / 武田薬品工業株式会社 / グラクソ・スミスクライン株式会社 / パーソルホールディングス株式会社 / アステラス製薬株式会社 / JNTL コンシューマーヘルス (Kenvue) / 三井住友トラストグループ / フリー株式会社 / キリンホールディングス株式会社 / サントリーホールディングス株式会社 / アサヒグループホールディングス株式会社 / 公益社団法人経済同友会 / アボットジャパン合同会社 / ファイザー株式会社 / イオン株式会社 / 積水ハウス株式会社 / ドイツ銀行 / 株式会社日立製作所 / CBRE / MSD 株式会社 / SmartHR / ナイキジャパン / AIG ジャパン・ホールディングス株式会社 / アストラゼネカ株式会社 / ブルームバーグ L.P. / ノバルティスファーマ / アッヴィ合同会社 / KPMG ジャパン / デロイト トーマツ グループ合同会社 / 日本ロレアル株式会社 / ソニーグループ株式会社 / 日本たばこ産業株式会社 / 野村ホールディングス株式会社 / Morgan Stanley / キャップジェミニ株式会社 / キャップジャパン株式会社 / マースジャパンリミテッド / 株式会社 JTB / Criteo

Pride Festival プライドステージ

Day1 6月7日(土)



プライドステージに登場したのは、公募によって選ばれた才能溢れる5組のアーティスト。女性同士でペアを組む社交ダンスサークル・ラティーナ、自身の体験や周りに起こったことをリアルに描くシンガーソングライターの川森晶望音さん、新宿二丁目シンガーソングライターのかつ江率いる深夜 / xinya、「トランス女子をもっとポップに!」をかかげるスタジオさつきぼんさん、マイノリティパフォーマー集団の

まぜこぜ一座が、個性豊かなパフォーマンスを披露してくれました。最後に個性の光るファッションに身をつみダンサーを引き連れて登壇したのは Aisho Nakajima さん。中毒性のあるビート、力強くセクシーな歌声で新曲「I Kissed a Boy」を含む全6曲を披露。最後に「また絶対にお会いしましょう」と締めくくり、会場全体が大興奮のなか1日目を終えました。

司会



小原プラス 様

出演者



ラティーナ 様



川森晶望音 様



深夜 / xinya 様



スタジオさつきぼん 様



山田なつみ



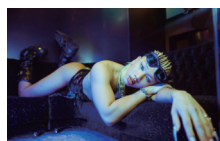
まぜこぜ座 様



Harris 様



八方不美人 様



Aisho Nakajima 様

Day2 6月8日(日)



日本を拠点に活動する総合芸術音楽家の清水舞手さん、性別やジャンルの壁を歌とドレスであざやかに飛び越えるKayaさんが、それぞれパフォーマンスで観客を魅了し会場の熱は最高潮に。続いて登場したのは、マドンナをはじめとした、国内外多数アーティストの振付師、ダンサーとして活動する Aya Sato さん。観るひとを惹きつけるビジュアルと、チームの息のあった動きで来場者の視線を釘付けにしました。そして Tokyo Pride 2025 ステージプログラムの最後を彩ってくれた

のは、DRAG QUEENS SHOW。ドラッグクイーンを中心とした総勢50名以上のパフォーマーが、煌びやかな衣装をまとい、会場全体を巻き込むエネルギーたっぷりのパフォーマンスを披露。改めて「Same Life, Same Rights」のメッセージを体感させてくれるような、ジャンルも性別も超えてありのままの輝きを称えるステージに興奮冷めやらぬなか、Tokyo Pride 2025 の Pride Festival と Pride Parade は幕を閉じました。

司会

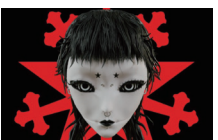


ベビーヴァギー 様

出演者



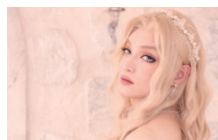
新宿エイサー新虹 様



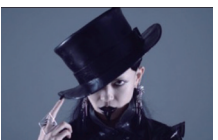
清水舞手 様



午前0時のプリンセス 様



Kaya 様



Aya Sato 様



DRAG QUEENS 様

Pride Festival ブース

今年のテーマ「Same Life, Same Rights」のもと、代々木公園イベント広場には、国内外の団体・NPO・飲食店・企業など計209のブースが出演。展示紹介、ワークショップ体験、座学などを通して、あらゆる人がつながる場として賑わいをみせていました。

「聞こう×話そう×つながろう！～LGBTQ+と多様な課題～」をテーマに、TRPのブースではインターセクショナリティ（社会的な属性が交差することで生じる複合的な課題）に焦点を当てた企画を展開。「ろう者とLGBTQ+」「LGBTQ+と貧困」といった重要なテーマに取り組む団体の代表者を招き、ピッチトークや交流会を実施。参加者同士が意見を交わし、共感や新たな視点を得る場となりました。ブースのデザインには、株式会社ヘラルボニーとの特別コラボレーションにより、同社とライセンス契約を結ぶアーティスト・竹内聖太郎氏の作品を使用。カラフルな「まる」のデザインが象徴する多様性のメッセージは、来場者の視線を集めました。



また、全国のプライド団体を応援する「推しを応援！」をテーマに、各団体の活動紹介と募金企画を展開。来場者は応援したいプライド団体へ募金することで、オリジナルステッカーを受け取り、支援の輪を広げました。この企画を通じて、全国のプライド団体の取り組みを知るだけでなく、楽しみながら応援したい団体を選び、自分に合った支援方法を見つける機会となりました。

さらに、同性婚法制化の実現を目指し、Marriage For All Japan と連携して発信を強化。Marriage For All Japan × Tokyo Pride 2025 のコラボ企画として、会場では、『“当たり前”が欲しいの展』を展示。同性カップルにとって認められていない権利や制度上の不公平を、具体的な事例をもとに紹介し、日常生活に潜む不便さをリアルに可視化しました。展示を通じて、来場者は共感したり、新たな気づきを得たり、自身が感じるモヤモヤをシェアしながら、課題について考え、社会における不平等と改めて向き合う機会となりました。

Tokyo Pride 2025 聞こう×話そう×つながろう LGBTQ+と 多様な課題

今年のテーマ「Same Life, Same Rights」とステートメントに基づき、「インターセクショナリティ（交差性）」に焦点を当て、LGBTQ+ コミュニティにおける多様なマイノリティ属性が抱える課題の可視化と解消をめざして企画をいたしました。

ろう者とLGBTQ+ Tokyo Pride 2025 聞こう×話そう×つながろう LGBTQ+と多様な課題 『ろう者とLGBTQ+』 一般社団法人日本ろうLGBTQ+連盟 https://youtu.be/ay6uZms3vgg	家族が変われば未来が広がる Tokyo Pride 2025 聞こう×話そう×つながろう LGBTQ+と多様な課題 『家族が変われば未来は広がる』 NPO法人LGBTの家族と友人をつくる会 https://youtu.be/rQEWNUd0Pug	LGBTQ+とHIV/感染症 Tokyo Pride 2025 聞こう×話そう×つながろう LGBTQ+と多様な課題 『LGBTQ+とHIV/感染症』 認定特定非営利活動法人ふれいす東京 https://youtu.be/octN7eNj8wY	LGBTQ+と貧困 Tokyo Pride 2025 聞こう×話そう×つながろう LGBTQ+と多様な課題 『LGBTQ+と貧困』 LGBTハウジングファーストを考える会・東京 https://youtu.be/oYhkLalYPr0
LGBTQ+と医療 Tokyo Pride 2025 聞こう×話そう×つながろう LGBTQ+と多様な課題 『LGBTQ+と医療』 一般社団法人にじいろドクターズ https://youtu.be/sHGezb5f7Yg	LGBTQ+の老後を考える Tokyo Pride 2025 聞こう×話そう×つながろう LGBTQ+と多様な課題 『LGBTQ+の老後を考える』 特定非営利活動法人パープル・ハンス https://youtu.be/Tb3L1VLJlcw	LGBTQ+と地域格差 Tokyo Pride 2025 聞こう×話そう×つながろう LGBTQ+と多様な課題 『LGBTQ+と地域格差』 秋田プライドマーチ/九州レインボープライド https://youtu.be/a3fqNU-X4mE	

Tokyo Pride 2025 SPONSORS

Rainbow Sponsors

Panasonic
CONNECT

kyndryl

Diamond Sponsors

ViiV
HealthcareGILEAD | PRIDE
ALLIANCE

LVMH

Platinum Sponsors

Gold Sponsors

SUNTORY

abbvie

AEON



Spotify



総合案内

総合インフォメーションブース。
迷子・落とし物などお困りごとがございましたらお気軽にお声がけください。

JAPAN PRIDE NETWORK
チャリティブース

キッズスペース

ミルク、おむつ替え、お子さんとのちよっとした休憩場所にぜひご利用ください。
※お子様のお預かりはできません。

パレード受付
パレードインフォメーション

Photo Spot

喫煙所 Supported by
日本たばこ産業株式会社

会場MAP



主催ブース

「聞こえ」をテーマに
～LGBTQ+と多～

ユニバーサルシ
介助が必要な方向
パッドを設置

interfm

2日間、特設ラジオ
公開生放送をお届



アンケート



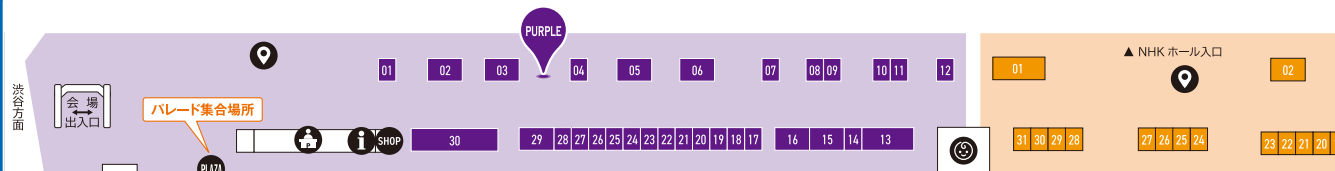
車椅子用観覧工



トイレ



公衆電話



団体・企業等

PURPLE

01	(一社) LGBT連合会
02	日本司法書士会連合会
03	日本ロレアル株式会社
04	ヒュンメル
05	ポーラ
06	パルファン ジパンシイ/LVMH
07	ワーナー・ブラザー・ディスカバリー
08	HOTEL GROOVE SHINJUKU
09	株式会社エスティーワールド ムーンシェル
10	株式会社アジャイルウェア
11	株式会社ジェイ エイ シー リクルートメント
12	NHK
13	ソニーグループ株式会社
14	pawpawmall
15	キリングループ
16	dentsu Japan
17	Figma Japan
18	ヒルトン・コンラッド東京・ヒルトン東京・ヒルトン東京ベイ・ヒルトン小田原リゾート&スパ・ダブルツリー by ヒルトン東京有明
19	AIGジャパン・ホールディングス株式会社
20	株式会社大和証券グループ本社
21	アステラス製薬株式会社
22	日本デラダー
23	ボストン コンサルティング グループ(BCG)
24	ROBERT WALTERS
25	株式会社SmarthR
26	ノバルティス ファーマ株式会社
27	ブルー・バグ・エル・ピー
28	KDDI株式会社
29	ゴールドマン・サックス・コードまっぴ
30	株式会社 資生堂

ORANGE

01	野村ホールディングス株式会社
02	バーソルグループ
03	ヤマハ株式会社
04	SORA
05	まるつとインクルーシブ病院の実装プロジェクト
06	日テレホールディングス
07	ゲイ専用結婚相談所ブリッジラウンジ
08	free meets Waffle
09	shibuya-san tourist information and art center
10	日本キャリア株式会社
11	株式会社プリンセスクエア
12	ユニバーサル・スタジオ・ジャパン
13	Uber
14	相模ゴム工業株式会社
15	株式会社LGBTQ Ordinary
16	エフエックス・ジャパン
17	ガートナー
18	マルタ観光局
19	ランスタッド株式会社
20	日興アセットマネジメント株式会社 / にじいろさぞく
21	合同会社wataboo
22	東京海上グループ
23	アパナード株式会社
24	ピーティックス
25	株式会社キーズ・インターナショナル
26	株式会社ブリヂストン
27	駐日北欧5か国大使館
28	British Embassy Tokyo
29	在日フランス大使館
30	カナダ大使館
31	在日オーストラリア大使館

BLUE

01	一般社団法人Transgender Japan
02	NPO法人レインボーコミュニティcolLabo
03	DEAF LGBT TOHOKU
04	Tokyo Deaf LGBTQ bond
05	全日本民医連SOGIEコミュニティ
06	LGBT自治体議員連盟
07	認定NPO法人ReBit
08	千葉県弁護士会・レインボー千葉の会
09	SR LGBTQ&Allies
10	台湾伴侶盟×台湾紅絲帶
11	G-FRONT関西
12	リザライ
13	LGBTハウジングファーストを考える会・東京
14	公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本
15	株式会社博報堂DYホールディングス
16	WPP
17	ナイキジャパン
18	キャップジェミニ株式会社
19	埼玉県
20	世田谷区役所
21	東京都
22	日本行政書士会連合会・東京都行政書士会・神奈川県行政書士会・千葉県行政書士会・埼玉県行政書士会
23	渋谷区役所
24	プライドハウス東京
25	Iris8&藤間紫苑.com
26	Polaris
27	「niji-depot」LGBTQ+とAllyのためのアクセサリ&雑貨専門店
28	特定非営利活動法人パープル・ハンズ
29	QPP
30	公益社団法人MarriageForAllJapan-結婚の自由をすべての人に

31	中央大学ダイバーシティセンター
32	筑波大学
33	筑波大学
34	大学ダイバーシティ・アライアンス
35	お茶の水女子大学・石丸研究室
36	テンプル大学ジャパンキャンパス
37	上智大学教職員有志
38	NPO法人LGBTの家族と友人をつなぐ会&Koto Vision 20270
39	NPO法人JASH日本性の健康協会
40	特定非営利活動法人Startline. net
41	(一社)東京都中小企業診断士協会認定 ダイバーシティ研究会
42	全国ユニオン
43	連合

GREEN

01	東京地下鉄株式会社
02	M・A・C
03	端数倶楽部
04	日立グループ
05	マース ジャパン リミテッド
06	ギャップジャパン株式会社
07	ノボ ノルディスク ファーマ株式会社
08	タビチ観光局
09	サイボウズ株式会社
10	ライフネット生命保険株式会社
11	Dr. Martens
12	クラーク
13	ファイバー株式会社
14	SOMPOグループ
15	アクセンチュア株式会社
16	積水ハウス株式会社
17	Pinterest(ピンタレスト)
18	アンカー・ジャパン株式会社
19	ファッションフリークショー

20	KPMGジャパン
21	Qoo10
22	We are "ALLY"
23	デロイト トーマツ グル
24	Morgan Stanley
25	公益社団法人経済同友
26	中外製薬株式会社
27	Koala Sleep Japan
28	BATジャパン
29	日本オーチス・エレベ
30	JLL
31	CBRE
32	FTMマギジンLapH
33	ハウスオブ外食
34	SOLUNA ESPERAN
35	にじず&TranS
36	NPO法人レインボー
37	NPO法人にじいろ学校

RED

01	Kenvue(ケンビュー)
02	日本ペーリンガーイン
03	アボットジャパングル
04	武田薬品工業株式会
05	ギリアド・サイエンス
06	TikTok Japan
07	楽天グループ
08	三井住友トラストグル
09	BEST BRIDAL
10	株式会社JTB
11	プライベートケアクリ
12	IKEA Japan K.K.
13	パナソニック コネク
14	J baby

会場MAP

- 救護**
イベント中にケガや体調不良になった際は救護テントにお越しください。
※谷プラザ内は6月8日のみ開設。
- PLAZA** 渋谷プラザ入口
(パレード集合場所)
- 展示ボード**
企業・団体の取り組み紹介
- SHOP** 公式ショップ
- エコステーション**
- コインロッカー**



15	株式会社UT 麗舎
16	グラフィクスミスクライン株式会社
17	ヴィーブヘルスケア株式会社
18	ヴィーブヘルスケア株式会社
19	キンプリジャパン株式会社
20	サントリーホールディングス株式会社
21	ドイツ銀行グループ
22	チェリオグループ
23	Spotify Japan
24	MSD株式会社
25	タイ国政府観光庁
26	EY Japan
27	日本たばこ産業株式会社
28	イオン
29	The Adecco Group
30	アッヴィ合同会社
31	ユニリーバジャパン・ホールディングス合同会社
32	株式会社CRAZY
33	NTTグループ
34	野村不動産グループ
35	リンクトイン・ジャパン株式会社
36	PwC Japanグループ×虹色ダイバーシティ
37	株式会社セールスフォース・ジャパン

飲食

BLUE	
F26	Ralph's Coffee
F27	丸亀製麺うどーなつ号
F28	焼きたて×ロンバッチHAPPYHAPPY
F29	三代目岩崎本舗
F30	吉野家
F31	吉野家

YELLOW	
F01	Like
F02	Double H
F03	エリジエス
F04	博多屋台 長政
F05	盛りあげローゼ
F06	漁師酒場 第八とんとこ丸
F07	ALAMAS CAFE
F08	焼肉ホルモンうしひろ
F09	タイ料理 パーン・プータイ
F10	倉敷軍団
F11	ロゼ by 中島董商店
F12	がってん
F13	TACOS LAB
F14	キッチンカーニバル
F15	青森食堂
F16	晴屋
F17	食べ飽かい
F18	E-LIFE
F19	Time Food Service
F20	PW
F21	MAMIANA沖縄
F22	スプラウト
F23	浅草 藤とことん
F24	ワンダーケパブ
F25	火処

ブースNo. Blue 30

MARRIAGE
FOR
ALL
JAPAN

Tokyo
Pride 25

Marriage For All Japan × Tokyo Pride 2025 コラボ

Tokyo Pride2025では、結婚の平等(同性婚の法制化)実現を目指す「公益社団法人 Marriage For All Japan - 結婚の自由をすべての人に」(以下、マリフォー)とのコラボ企画を多数実施します。

プライドパレードでは、マリフォー × Tokyo Pride 2025 特別フロートが登場!
『WE ARE HERE! わたしたちはここにいる! いっしょに法律を変えよう!』に50組100名の法律上同性どうしのカップル、150名の同性婚の法制化を応援する当事者や支援者が参加。

マリフォーブースでは「当たり前」が欲しいのです展を開催。
異性カップルにとっては「当たり前」でありながら同性カップルには許されていない数々のアクションを具体的に可視化し、その「不都合」をリアルに伝える企画展を実施しています。

プライドパレードに参加した50組100名のカップルが、ステージにも登場!
同性婚法制化を目指すメッセージの発信を行います。
※内容は変更になる場合があります

JPN
JAPAN PRIDE NETWORK

JAPAN PRIDE NETWORK
チャリティブース

JAPAN PRIDE NETWORKに加盟している団体の活動紹介と募金ブースです。
あなたの応援したい(推したい)団体への募金により、各団体のオリジナルロゴステッカーや、Tokyo Pride 2025だけで楽しめるガチャガチャの参加権がもらえます。
※募金は、現金及びQRコードを使用したデジタル決済に対応しています。



ガチャガチャを回して、
JPNオリジナルグッズを
ゲットしよう!

Youth Pride 2025

初開催となった『Youth Pride（ユースプライド）』は、LGBTQ+ 当事者や LGBTQ+ に関心を持つユース世代を対象としたフェスティバル形式のプライドの祭典。「ありのままを愛そう」をコンセプトに掲げ、「学ぶ」「働く」「暮らす」「遊ぶ」の4つのテーマを通して、ステージエリアとブースエリアを展開しました。会場となった WITH HARAJUKU HALL には、ユース世代を中心に多くの人で賑わっていました。

ステージエリアでは、2日間にわたって各テーマに沿ったプログラムが実施され、多様性を尊重し、より自由で生きやすく、楽しい今と未来を築くための情報発信がされました。各セッションでは、LGBTQ+ 当事者のリアルな声や専門家の知見が共有され、来場者は自身の未来を考える貴重な機会を得ることができました。



司会
中島幸乃

司会
アロム様

Day1 6月14日(土)

SECTION #1 「学ぶ」

初日は、日本の LGBTQ+ の歴史と世界の LGBTQ+ の権利回復運動の歩みを学ぶプログラムからスタート。性社会文化史研究者の三橋順子さんから、日本最大のゲイタウン「新宿二丁目」の誕生について、日本初のゲイバーの誕生から新宿二丁目として確立されるまでの変遷を紹介しました。続いて、ジャーナリストの北丸雄二さんからは、国際的な視点から世界各国で進められてきた LGBTQ+ の権利回復運動の歴史についてお話いただきました。

お二人からのお話のあとはインフルエンサーのじんじんさんと、現役高校生と大学生の YouthProject メンバー2名による座談会を実施。学校生活におけるルールや雰囲気、先生の言葉などから感じてきたユース世代のリアルな声を通じて、学校や教育のあり方を一緒に考える場となりました。



©TokyoPride2025



©TokyoPride2025

SECTION #2 「働く」

続いては、「LGBTQ+ 就活サバイバー ～現代の就活生は何を求めるか～」と題して、LGBTQ+ 当事者の就職活動に関するプログラムを実施。就職活動中のユース世代3名が、企業の代表者に対して5分間のピッチを通して本音をぶつけました。企業の登壇者、LVMH フレグランスブランド株式会社 代表取締役社長の金山桃さん、EY JAPAN チェアパーソン兼 CEO ジャパン・リージョナルマネージング・パートナーの貴田守亮さん、東京レインボープライド共同代表理事の山田なつみが登壇しました。就活サバイバーのトップバッターとして登壇したちほさんは、自身のアルバイト先での実体験をもとに、LGBTQ+ の枠ではなく、「その人自体に向き合う」職場環境の重要性についてのピッチを披露。続いて登壇したタカセさんは、「言えるかもしれない」職場づくりを目指し、相手の LGBTQ+ 理解度に関係なく、自分の要望を安心して伝えられるサポートツールを提案。最後に登壇したあんみさんは、医療業界を志す立場から「形だけの制度ではなく、実際に“使える環境”が整っていることの重要性」を訴えました。企業の登壇者たちはユース世代に温かいエールを送り、それぞれの立場から、未来を築くための前向きなメッセージを届けました。企業側も、次世代の意見を受け止める貴重な機会として、本イベントの意義を改めて感じる場となりました。

アルバイト、インターン、就職活動など、ユース世代にとって現在進行形のリアルなテーマとなった本プログラムを、来場者は食い入るように聞いていました。

1日目のラストは、実際にダイバーシティに取り組む企業担当者に、企業のリアルな現場について何う座談会を実施。トランスジェンダーを始めて受け入れる企業へのアドバイス、LGBTQ+ を含む DEI を社内カルチャーとして根付かせるために大切にしていることについて、それぞれの取り組みをお話しいただきました。座談会の最後には、多様性のあるユースに向けたエールを送っていただき1日目が終了しました。



©TokyoPride2025

Day2 6月15日(日)

SECTION #3 「暮らす」

2日目は、「LGBTQ+の人生設計—暮らし・家庭・子育て」のプログラムから開幕。家庭をもつLGBTQ+当事者の先輩として、YouTuberとして活躍する「ふたりばば」のみつつんさんとリカさん、「はび LIFE チャンネル」のぼっちさんとみち子さんの2組が登場。制度の壁などから家庭づくりや子育ての未来を描きにくいユース世代のLGBTQ+当事者に向け、本プログラムでは登壇者が自身の経験を率直に共有し、希望を届けました。続いて GIVENCHY BEAUTY と ZOZO による、「PERSONAL STYLE SHOW 2025」がスタート。「自分らしさ」を表すファッションやメイクに悩みを持つLGBTQ+当事者の3名のユースモデルをお迎えし、「なりたい自分」をメイクデモとスタイリングで実現。堂々とした3名の姿に会場からは拍手が湧き起こりました。



SECTION #4 「遊ぶ」

そしていよいよラストを飾ったプログラムは「Youth Pride 成人式 in collaboration with keuzes」。この成人式は、年齢や制度に縛られず、20歳の門出を祝うのではなく、「ありのまま記念日」をテーマに、一人ひとりの“ありたい姿”を、自分自身で祝う式として開催されました。MCの中島からの「今日ここにいる皆さんは、それぞれの時間や背景を背負って、この場所を“自分で”選んで来てくれました。その選択に、心からの拍手を贈ります。今この瞬間が、皆さんの心に刻まれていきますように。」という言葉とともにスタート。ゲストと約40名のユースがあふれんばかりの笑顔でランウェイを歩きました。

2日間をとおして、来場者はリアルイベントならではの同年代との出会いや交流を楽しみました。そして、ステージの上でそれぞれの「自分らしさ」を誇る登壇者の姿は、会場に集まったユースに「ありのままでいいんだ」というメッセージを届け、大盛況のうちに Youth Pride は幕を閉じました。



Human Rights Conference

今年初開催となった様々な切り口から人権について総合的に考える「Human Rights Conference」。多様なバックグラウンドや属性を持つ人々が、公平に権利を行使できる社会を実現することを目指し、2025年6月22日(日)に開催しました。

Human Rights Conference は、LGBTQ+コミュニティが直面する人権課題を主要なテーマとし、社会に根付く様々な不平等を共に考える場です。LGBTQ+の人権課題を通じて明らかになる、家族制度、反ジェンダー運動、反DEI（ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン）運動、報道倫理などの重要なトピックスを取り上げ、不平等の現状を理解するとともに、その解決に向けての一步を模索する議論を行います。登壇者として、当事者や専門家、活動家の方々をお招きしました。

さらに、対話を通じて「Same Life, Same Rights」というTokyo Pride 2025のテーマを体感し、誰もが「らしく、たのしく、ほこらしく」生きられる、Happy!な社会を実現するために、自分たちに何ができるのかを具体的に考えました。

人権課題をテーマとした
ヒューマンライツカンファレンス
Human Rights Conference

基調講演
Same Life, Same Rights.
国際人権基準から考えるLGBTQ+

2025.6.22 開催



<https://youtu.be/b71F2hLtT8>



人権課題をテーマとした
ヒューマンライツカンファレンス
Human Rights Conference

セッション2
差別の拡散か、共生の促進か？
～メディアの影響を考える～

2025.6.22 開催



<https://youtu.be/Y5W2eXw6C4c>



人権課題をテーマとした
ヒューマンライツカンファレンス
Human Rights Conference

セッション3
国際的な反ジェンダー運動を
冷静に分析・対応するためには

2025.6.22 開催



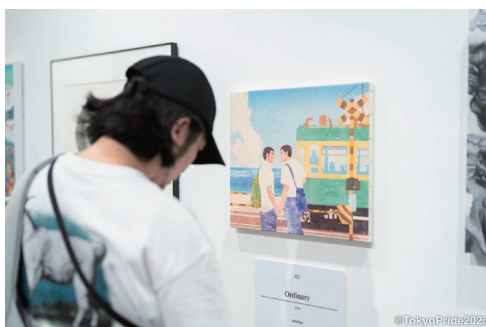
<https://youtu.be/wruhF4F5sjo>



Queer Art Exhibition

Queer Art Exhibition は、LGBTQ+ のアーティストによって制作された作品とクィア文化の紹介・歴史の再発見、またはクィアストーリーをテーマとした作品、LGBTQ+ コミュニティに関するストーリーやアイデンティティを表現した作品が見られる展示会です。2025年6月6日(金)～6月18日(水)に開催しました。

アートは、人々の多様性を可視化し、共感を呼び起こす強力な手段です。本展示会を通じて、LGBTQ+ コミュニティやその文化的背景についての理解を深めるとともに、新たな視点や物語を社会に共有していくことを目指しています。



interfm

<https://www.interfm.co.jp/trp>


interfm と TOKYO RAINBOW PRIDE がタッグを組み、ダイバーシティ、多様性のある社会が叫ばれる中で、毎回取り上げる様々なトピックスやゲストの方との会話を通し、まだまだ残る、様々な課題や問題を可視化し、本当の意味での多様性と、愛のある社会を目指していく番組です。



ゲスト一覧

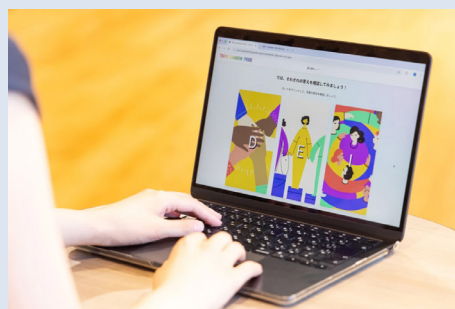
- ボーイフレンドのプロデューサー Taiki 様
- 木津毅 様
- ドリアン・ロロブリジダ 様
- WAKUWAKU♡サセコ
- よしひろまさみち 様
- 「Over Magazine」宇田川しい 様、古賀一孝 様
- 竹田ダニエル 様
- おしゅー 様
- Atsushi 様
- ふれいす東京 生島 様
- 近視のサエ子 様
- ユースク&カスト 様
- 山内まりこ 様
- 奥浜レイラ 様
- ロンリネスブックス 湯見 様
- クリエイティブマン 木村 様
- 直川貴博 様
- サムソン高橋 様
- EY Japan 様
- 太田直樹 様
- MONDO 様
- 奥浜 様
- 星マリコ 様
- ジョージ・ウィリアムズ & ヴィヴィアン 様

e-ラーニング

<https://tokyorainbowpride.org/activities/education/#panel-e-learning>


「DEIについて学びたいけれど、まず何から始めればいいのかかわからない」そのような声にお応えして開発されたのが、東京レインボープライドの法人向け e-ラーニングプログラムです。

DEI や LGBTQ+ に関する専門的な知識と教育経験を持つスタッフの学術的な知見に加えて、企業・団体・学校・自治体に対して積み重ねてきた研修や講演、コンサルティングの実践的な経験を活かして設計。さらに、当事者を含む多様な立場のスタッフの声を取り入れ、受講者が自分のペースで深く考えながら学べる構成となっています。オンライン形式により、時間や場所にとらわれず、誰もが無理なく学べる学習環境を実現します。



YouthProject

<https://tokyorainbowpride.org/activities/community/#panel-youth-project>


YouthProject は、LGBTQ+ のユース世代のコミュニティです。Youth Pride や交流イベントなど、さまざまな活動を通して、全国のユースがつながる場をつくっています。



月1の交流会

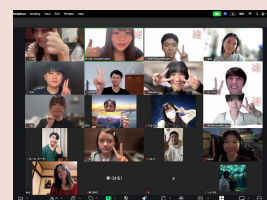
ユースのLGBTQ+が気軽につながれる交流イベントを、毎月開催しています。テーマを決めた小規模トーク、ゆるい雑談会、季節イベントなど、初めての方も参加しやすい内容です。

YouthProject Local Tour (全国プライドツアー)

YouthProject のメンバーが、全国のユース世代に“会いに行く”プライドツアーを実施しています。今年度は、大阪、九州、名古屋、札幌のプライドに参加・現地でイベントを開催し、現地のユースとの交流を深めていきます。

Youth Prideの開催

東京レインボープライドがプライドマンスに開催するTokyo Pride 2026にて、Youth Prideを開催予定。2026年は「One Friend, One Love, One Future」をテーマに掲げ、出会いとつながりを目的とするイベントです。交流会をメインコンテンツとし、参加者が互いに出会い、関係性を築くことができるような企画を用意しています。



NPO法人 東京レインボープライドの これから

新しい期のはじまり

「すべての人が、自分らしく生きられる社会を実現する」

—— その理念のもとに、私たちは歩みを続けています。

2024年度は多くの皆さまに支えていただき、新しい一歩を踏み出すことができました。
心より感謝申し上げます。

前期の歩み

2024度は、共同代表理事の交代と体制刷新を経て、団体として大きな転換点を迎えました。

年に一度のプライドイベントは「Tokyo Pride」へと名称を変更し、プライドパレード&フェスティバル（Pride Parade & Festival）だけでなく、クィアアートエキシビジョン（Queer Art Exhibition）、ユースプライド（Youth Pride）、ヒューマンライツカンファレンス（Human Rights Conference）、プライドナイト（Pride Night）など、多様なコンテンツを展開しました。

6月のプライドマンスの時期に、代々木場を越えて活動を広げることができました。

また、プライドマンスだけにとどまらず、年間を通じた活動を本格的に始め、コミュニティセンターの構想を含む場づくりや、法人向けのe-ラーニング開発など教育・啓発事業にも取り組み始めました。

活動に込める想い

LGBTQ+をはじめとするセクシュアルマイノリティが抱える様々な課題が解決するため、私たちは法整備が進むことを望んでいます。しかし、その先にある「日々の暮らし」が変わらなければ、社会は本当に平等になったとは言えません。

一人ひとりが日常の中で尊重され、自分らしく生きられる社会を実現するために、プライドマンスをはじめ、年間を通して社会が多様な 이슈に向き合えるよう、東京レインボープライドは活動の幅を広げています。



これからのNPO法人東京レインボープライド(TRP)

2025年度は次の取り組みに注力します。

Tokyo Pride 2026の開催

2026年もプライドパレード&フェスティバル（Pride Parade & Festival）、クィアアートエキシビジョン（Queer Art Exhibition）、ユースプライド（Youth Pride）、ヒューマンライツカンファレンス（Human Rights Conference）、プライドナイト（Pride Night）を展開予定です。

Tokyo Prideを通して、社会へ向けて多角的に発信するとともに、コミュニティにとってのつながる場や表現の場として広げていきます。

コミュニティセンター設立

LGBTQ+の人々が日常の中で安心して集い、より自分らしく生きていくための場を目指します。

2026年1月の始動を目指します。

ユースやウェルネスを含む コミュニティ事業の強化

2024年から立ち上がったユース世代（10代・20代）を中心としたコミュニティ YouthProject の居場所づくりにも力を入れるとともに、センター設立を機に、これまでの活動で接点のなかった方々やより幅広い世代を巻き込んで誰もがより良く生きていけるためのコミュニティ・ウェルネス事業を強化していきます。

教育・啓発事業

企業に向けた研修や TRP が独自開発したe-ラーニングシステムを通じて、社会全体の理解を深め、職場や組織の変革を後押ししていきます。

これらの活動を安定的に継続し、社会から信頼される団体であり続けるために、

東京レインボープライドは組織基盤の強化にも取り組みます。

その一環として、認定NPOの取得を目指します。

NPO 法人東京レインボープライドは、日々の暮らしの中で一人ひとりが安心して過ごせる社会を実現するために活動を続けています。その積み重ねが「プライド」を社会の文化として根づかせ、誰もが自分らしく生きられる社会を実現する力になると信じています。

すべての人が自分らしく生きられる未来へ向けて——
新しい1年もみなさんと一緒に歩んでいきたいと思っています。
これからの発信も、ぜひ楽しみにしててください！

特定非営利活動法人東京レインボープライド

TOKYO RAINBOW PRIDE センター開設構想とご支援のお願い

行くと元気になれる LGBTQ+ の拠点を

私たち NPO 法人東京レインボープライド (TRP) は、
LGBTQ+ の当事者が「らしく・楽しく・ほこらしく」生きられる社会を目指して、
LGBTQ+ 当事者だけでなく、企業やアライと共に活動を続けてきました。

けれど年に一度のパレードやイベントだけでは、支えきれない現実も見えてきました。
だからこそ今、私たちは東京都内に常設の LGBTQ+ & アライセンターを開設し
一年を通して、未来を前向きに想像できる居場所と機会を届けたいと考えています。

私たちが目指すのは、
「居場所+その先」:

このセンターは、困った時に駆け込む場所だけではありません。
安心して過ごせる場所はもちろん、
ふらっと立ち寄って、誰かと笑って、“未来を考えられる”
出会いや学び、チャレンジの機会を提供します。
このセンターでは、「自分の人生をつくっていく力」を育めるよう、
学び、楽しみ、前向きに生きていく多様なプログラムをそろえます。

センターで
できること:

未来を描くヒントが見つかる

ライフビジョン講座やユースの集まりで、
自分らしい生き方を考えるきっかけを。

安心して学び続け、健康に生きる

語学やフィットネス、アートを通じて、
自然な出会いと学びを。

仕事やお金の不安に備える

キャリア相談やマネープラン支援で、
将来への一歩を後押し。

ふらっと来て、笑える日常を

フリースペースで、当事者もアライも
いつでも気軽に立ち寄れる居場所に。

サポーター募集

このセンターを、「来るとちょっと元気になれる」場所として開設し、そして続けていくために、
スペースを維持し、多彩なプログラムを展開していくには、**みなさんのご支援が欠かせません。**

TRP は今後、認定 NPO 法人の取得も目指して運営体制を整えていきます。

あなたのご寄付が、誰かにとっての「人生が楽しくなる場所」を支える力になります。

温かいご支援を、心よりお願い申し上げます。

個人寄付・年会費 3,000 円 ~

詳細



<https://tokyorainbowpride.org/donation/>

認定NPO法人の取得を目指して

あなたの「一歩」が、大きな力に。

東京レインボープライドは発足以来、LGBTQ+の可視化と理解促進に取り組み、社会の意識変化を後押ししてきました。

1994年、東京で日本初のプライドパレードが開催され、勇気をもって街を歩いた人々の姿が、全国に広がるムーブメントの第一歩となりました。

そして今、私たちは「可視化」からさらに一歩進み、法整備・人権・エクイティといった具体的な課題の解決に挑んでいます。

“らしく、たのしく、ほこらしく”生きられる社会の実現をめざし、これからも歩みを続けます。

活動をさらに発展させるため、東京レインボープライドは「認定NPO法人」の取得を目指しています。この認定を受けることで、皆さまからの寄附は税制優遇の対象となり、寄附金の一部が所得税や法人税から控除されるようになります。

認定には、平均年間100名以上の方からそれぞれ3,000円以上のご寄附をいただくことが要件の一つです。

**ぜひこの機会に、
ご支援をお願いいたします。**

寄附の方法

継続的なご支援、または単発寄附の
いずれでもご参加いただけます。

継続寄附：月300円から
単発寄附：1回3,000円から

皆さまからのご寄附は、
・次世代に向けた教育・啓発活動
・安心して過ごせるコミュニティの場づくり
・誰もが参加しやすいインクルーシブな
イベント運営
などへ活用されます。

あなたの「一歩」が、社会を変える力になります。
ぜひ、東京レインボープライドとともに、
誰もが自分らしく生きられる社会を実現してください。
<https://tokyorainbowpride.org/supporters/>



特定非営利活動法人 東京レインボープライド
2024年度 年間活動報告書

発行：特定非営利活動法人 東京レインボープライド
編集：事務局 伊芸祐輝
デザイン：山本そよか

© 特定非営利活動法人 東京レインボープライド
無断転載およびSNS等での拡散禁止

らしく、たのしく、ほこらしく

TOKYO RAINBOW PRIDE

Web サイト

<https://tokyorainbowpride.org>

E-mail



npoinfo@tokyorainbowpride.org

YouTube



<https://www.youtube.com/c/TokyoRPride>

X(旧Twitter)



Tokyo_R_Pride

Instagram



tokyo.r.pride

Facebook



Tokyo.R.Pride

特定非営利活動法人 東京レインボープライド
2024 年度 年間活動報告書